

## 榎本さんを送る言葉

杉浦直治（地球惑星物理学専攻）

榎本さんは、昭和56年から今日まで約12年間地球惑星物理学科の試作室で、技官として活躍されてきました。地球惑星物理学科では理論シミュレーション研究を行う教官が多い中で、実験的研究を行っている私たちのグループにとって力強い味方であった榎本さんが、退官されることは本当に残念です。榎本さんはいつも明るく前向きな姿勢で仕事に取り組むので、学生達からもしたわれ、そのせいもあっていつも多くの仕事をかかえていて、いそがしいときには、休日に出勤して学生達の研究がとどこおらないようにしたこともたびたびあったようです。特にこの2～3年の間は、地球惑星物理学科では3年生向けの実験コースを新設するために、いろいろな物の製作を依頼したために、榎本さんは非常に多忙な毎日を送られていました。この学生実験コースでは学生がある程度自由に、テーマと実験方法を考案できる様にしたのが特徴なのですが、その様な自由を与えることができたのも、実は榎本さんが学生の注文に応じて素早く、実験装置をつくってくれる体制

があったからなのです。仕事を離れた榎本さんは多趣味で、南米の民族音楽の鑑賞、つり、旅行、散歩、ラーメンの食べ歩き、UFOの研究など多方面で生活を楽しんでいました。特筆すべきなのは、グジャレの創作で、機を逸することなくグジャレを連発する才能は日本人離れしたものでありました。

また榎本さんは、スポーツでは野球、ソフトボールが得意で、レクリエーションのソフトボール大会では、毎年エースピッチャーとして活躍し、理学部チームを2回の2年連続優勝に導いた実績があります。

退官を目前にして若干健康を害してごく最近短かい入院生活を送った榎本さんですが、退院後は健康も順調に回復しているようで、退官後は、一層趣味を生かした生活を楽しまれることと思います。なお地球惑星物理学科では退官後もパートタイムで榎本さんに試作室の仕事を続けていただく予定にしています。今後とも健康に気をつけて活躍されることを期待しています。

